

道路整備特別会計

平成18年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	前年度	18年度	増減		
< 資産の部 >			< 負債の部 >				
現金・預金	862	909	47	未払金	39	34	△4
未収金等	8	8	0	退職給付引当金	105	106	1
貸付金	1,890	1,779	△110	他会計繰戻未済金	1,047	1,013	△33
貸倒引当金	△0	△0	0	その他の負債	11	11	0
有形固定資産	702	596	△105				
国有財産	280	269	△10				
(公共用財産を除く)							
公共用財産	291	223	△67				
物品	130	104	△26				
出資金	3,748	4,879	1,131	負債合計	1,203	1,166	△37
その他の資産	67	7	△59	< 資産・負債差額の部 >			
資産合計	7,278	8,183	904	資産・負債差額	6,074	7,016	941
				負債及び資産・負債差額合計	7,278	8,183	904

業務費用計算書

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	
人件費	56	56	0
退職給付引当金等繰入額	10	12	2
附帯・受託事業費	48	47	△1
補助金等	1,532	1,422	△109
独立行政法人運営費交付金	1	1	0
委託費	0	0	0
一般会計への繰入	0	-	0
庁費等	6	6	0
その他の経費	1	1	0
減価償却費	45	50	4
貸倒引当金繰入額	0	0	0
資産処分損益	5	7	2
本年度業務費用合計	1,709	1,607	△101

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	
前年度末資産・負債差額	5,114	6,074	959
本年度業務費用合計(A)	△1,709	△1,607	101
財源(B)	3,986	3,693	△292
自己収入	697	730	32
目的税(揮発油税)収入	740	739	△1
他会計からの受入	2,547	2,223	△324
無償所管換等	△1,282	△2,195	△912
資産評価差額	△33	1,051	1,085
本年度末資産・負債差額	6,074	7,016	941

(参考) (A) + (B) 2,276 2,085 △1,910

区分別収支計算書

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	
業務収支	862	909	47
財務収支	-	-	-
本年度収支	862	909	47
(業務収支+財務収支)			
翌年度歳入繰入	862	909	47
その他歳計外・預金本年度末残高	0	0	0
本年度末現金・預金残高	862	909	47

道路整備特別会計の業務等の概要

- 設置目的
この会計は、道路整備の推進を図るため、揮発油税等収入と一般財源を一般会計から受け入れるほか、直轄事業の地方公共団体から受け入れることにより財源の調達を図るとともに、道路整備事業の経理を明確にするため設置されたものである。
- 業務内容
道路の新設、改築、維持及び修繕に関する事業等を実施している。
- 定員数 8,043 人
- 歳入歳出決算の概要
歳入 4 兆 7865 億円 (租税 7393 億円 他会計より受入 2 兆 3326 億円 等)
歳出 3 兆 8772 億円 (道路事業費 1 兆 6357 億円 地方道路整備臨時交付金 7485 億円 等)
差引 9092 億円 (翌年度歳入繰入)

主な科目の内容

- 貸借対照表
・貸付金…主に地方道路公社、日本高速道路保有・債務返済機構等に対する貸付金
・有形固定資産…主に国道事務所等に係る土地・建物(国有財産)及び未完成の工事等に係る前払金(公共用財産)
・出資金…主に日本高速道路保有・債務返済機構等に対する出資金(国有財産台帳価格への評価替による増 +1兆518億円)
・他会計繰戻未済金…産業投資特別会計へ繰り入れることとなっている額
- 業務費用計算書
・補助金等…主に地方公共団体等が施行する道路事業費等(補助金の減少 △1098億円)
- 資産・負債差額増減計算書
・他会計からの受入…道路整備事業に要する経費の財源に充てるための一般会計からの受入額
・無償所管換等…施設完成後に一般会計に移管された公共用財産等
・資産評価差額…出資金の国有財産台帳価格の改定に係る評価差額(主に18年度の出資金の評価替による増 +1兆518億円)